

営農技術情報

水稲（低温注意！）

令和元(2019)年6月27日

日高農業改良普及センター日高西部支所

JAびらとり JA門別町

6月27日午前11時に発表された週間天気予報(胆振日高方面)では、29日～1日にかけて最低気温が下がることが予想されています。

また、札幌管区気象台から発表された「低温に関する早期天候情報」(令和元年6月24日)によると、北海道地方では、6月30日から、かなりの低温(5日間平均気温平年差 -2.5°C 以下)となることが見込まれております。

今後の低温に際して、水稲においては適切な水管理が重要です。

★当地区の幼穂形成期は平年7月6日(中苗ななつぼし)ですが、現段階では2～3日早まっていると推察されます。

★低温が予想される場合の水田管理の基本は水温の確保・維持です。水温を確保するため水深のコントロールと止め水管理がポイントとなります。

★当面、以下のことに注意してください。

①一部で水が入っていない水田が見られます。まもなく幼穂形成期になりますので、中干しを行っているほ場も含め、早急に入水し、6～8cm程度の水深を確保してください。

②(低温対策として)天候不順になってからの急激な入水は水温低下や地域内で用水不足となりますので、水の取り入れは計画的に行ってください。

③日照不足時の極端な深水継続は生育が劣る場合があるので、日照がある時は水深を下げ、水温を高めることに努めてください。

最新の気象情報は札幌管区気象台ホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)等で確認してください。

※ストップ農作業事故！！ちょっとした油断が事故につながります。

焦らず、ゆとりをもって作業をしてください！！